

# 総括質問

## 湘南フォーラム

出村 光 議員

### 平塚市は大震災に どう対応したのか

**問** 東日本大震災により多くの方々が今もなお避難所等でのつらい生活を強いられている。本市は東北地方の被災地へどのような支援をしてきたのか。

**市長** 災害時の相互応援協定を締結している宮城県石巻市には、本市が備蓄している毛布や保存食、生活物資、市民や企業から提供された物品を搬送し、避難所支援職員なども派遣している。友好都市である岩手県花巻市に対しても、生活物資などを提供した。また岩手県へは災害医療チームを、宮城・福島両県には緊急消防援助隊を派遣した。

**問** 地域防災計画の見直しはいつまでに行うのか。  
**市長** 東日本大震災で本市の地震対策の課題が明らかになった。平成23年度中に素案を策定し、平成24年度中に改定したい。

### 所信表明への 決意を市長に問う

**問** 市長は所信表明で「将来を見据えた新しい行財政計画を作る」と述べている

6月定例会では16人の議員が市長のマニフェスト(政策公約)や、東日本大震災の発生を受けて対応が急がれる防災関連の取り組みなどに対し総括質問を行いました。  
※質問者の文責により質問と答弁の要旨を掲載しています。

が、改革は本当にできるのか。決意を伺う。

**市長** 平塚をよくするため自ら動き、働きかけ、職員と一丸となって改革に取り組みたい。

**問** 本市の三大事業である市役所新庁舎建設、次期環境事業センター整備、市民病院整備の進捗は、市民にとって大変重要なことである。積極的に情報を提供していくべきではないか。

**市長** 三大事業については、今後も事業の節目に情報を提供していく。

### 小泉 春雄 議員

#### 選挙結果と 市政運営について

**問** 市長選挙で落選した2候補の政策には素晴らしいものもあったと思う。市民が主役の市政運営に努めるのであれば、他候補の政策でもよいものは取り入れるべきだと思うが、市長の所見を伺いたい。

**市長** 候補者は、だれもがこのまちをよくしたいという思いで立候補したと理解している。考え方や手法の違いはあるが、私の政策と

どこにあるのか。

**市長** 子育ての大変な時期を支援したいという思いがある。近隣自治体の状況や市民の要望などから総合的に見て、対象を小学校6年生まで拡大することが必要と判断したが、所得制限を設け、ある程度収入を得ている世帯には医療費を負担していただく考えである。

**問** 町内福祉村について、未設置地区への設置促進策を伺う。

**市長** 地域住民の主体的な参加を基本に、住民相互の助け合い、支え合いにより、だれもが安心して生活できる仕組みづくりを目標に進めているが、あくまでもポトムアップを進めていく。

共通する点もあると思う。市民にとってプラスになる政策は参考にしていく。

#### 東日本大震災を 受けて見えた課題

**問** 地震発生時、市役所来庁者の避難誘導に課題はなかったか。

**防災危機管理部長** 一部で避難誘導などの対応が十分に行われず、職員が先に避難するなどの状況があった。幸い大きな混乱や被害の発生はなかったが、反省すべきものと強く認識している。今後は職員の初動体制の統一的な在り方を検討

3月11日の大震災以降、「コミュニティや地域の支え合いの重要性に対する地域住民の意識が高まっている。これらの課題解決には、職員が地域へ出向き、解決策や支援の方向性を一緒に見いだしていくことが大切である。」

#### 選挙公約への対応は

**問** 選挙公報で表明した市長の公約のうち、今定例会での所信表明に盛り込まれなかった施策については今後どのように取り組んでいくのか。

**市長** 今回所信表明に盛り込まなかった施策も市民に約束したものであり、重要かつ必要なことなので、順

### 端 文昭 議員

#### 原発教育と市施策

次取り組んでいく。  
**問** 「市長給与削減」の公約については、今後どのように進めるのか。  
**市長** 防災予算を増額していくための方法として導き出した答えの一つが「市長給与の50%削減」である。この公約の趣旨を議員に理解いただき、市議会9月定例会に諮りたい。

**問** 「原子力発電所は大きな地震や津波にも耐えられよう設計されています」と、その安全性を教える副読本が全国の小・中学校に配布された。本市の学校教育は原子力発電の問題をどう取り扱ってきたのか。

**市長** 今回所信表明に盛り込まなかった施策も市民に約束したものであり、重要かつ必要なことなので、順

#### 新庁舎の建設と 既存施設の活用

**問** 市役所新庁舎の建設により余裕施設となる新館や豊原分庁舎に旧城島・金目公民館や城島分庁舎で保管している博物館の収蔵品などを移し、旧公民館などを地域要望に沿って活用できるようにすべきでは。

**企画部長** 建物の状況にもよるが、新庁舎建設後の既

力、原子力といった発電方法の長所と短所を考察するなど、将来にわたりエネルギーを有効、安全に利用する重要性を学習する。  
**問** 「放射能を正しく理解するために、教育現場の皆様へ」と題する文書が4月20日付けで文部科学省から配布された。これによる、1年間に蓄積される放射線量の限度を以前の基準値である「シーベルト以下から20シーベルト以下に変更している。本市教育委員会は、どう取り扱ったのか、見解を聞きたい。

### 米村 和彦 議員

#### 北金目地区、真田地区の区画整理事業

は年間1.5シーベルト以下を目指す」という見解を示した。また留意点として、1時間当たり3.8マイクシーベルト以上の区域を活動制限区域としている。  
**問** 毎時3.8マイクシーベルトというのは年間20シーベルトに相当する。毎時3.8マイクシーベルト以下でも安全だといえないのではないかと。  
**教育長** 国や県からの通知や広報に注視していきたい。  
**問** 学校給食について、食

**問** 「平塚市の西の玄関」として金目地区のまちづくりを行うに当たり、金目地区で行われている二つの区画整理事業を早く終わらせる必要がある。約17年続いている「真田・北金目特定土地区画整理事業」と「真田特定土地区画整理事業」の進捗状況を伺う。

**まちづくり事業部長** 「真田・北金目特定土地区画整理事業」は平成22年度末で約8割終了している。「真田特定土地区画整理事業」では、移転していない建物について地元地権者で作る組合が所有者との交渉を続けており、移転に向けた合意を得てから建物の調査等に入ると聞いている。  
**社会教育部長** 今後、同地区の人口増加が目に見える形で出てきた場合は検討する必要があると考える。

存公共施設の活用方法の一つとして受け止める。  
**問** 城島地区の住民から「城島には小さい子供を遊ばせる場所がまったくないですね」と言われている。旧城島公民館の収蔵物を他所に移して建物を解体すれば、約1000平方メートルの広場ができる。ぜひ検討し、対応してほしい。  
**企画部長** 小さな子供が遊べる安全で利便性の高い場所を整備してほしいという地域住民の切実な願いを、今後既存施設の活用を考慮の中で十分考慮していきたい。

材の放射能濃度を測定する予定はあるのか。  
**教育総務部長** 暫定規制値を超えた食品については、国が原子力災害対策特別措置法および食品衛生法に基づき出荷制限や摂取制限を行っている。市場に出回る食品は安全という判断で使用している。食品納入時には出荷制限されたものが混入していないか厳重に点検している。そのような理由から、本市で独自に検査を行う予定はない。

